

# 長沼・豊野地区公共施設等の整備基本方針について

長野市災害復興計画において方針が未定となっていた公共施設の復旧について定めるもの

企画政策部復興局  
復興推進課

ONE  HEART



令和元年東日本台風災害により被災した長沼・豊野地区の公共施設等について、各地区からの意向を受け、以下のとおり整備基本方針として決定。  
なお、具体的な整備内容については、本市の厳しい財政状況を踏まえつつ、継続して各地区と協議を行うもの。

## 長沼地区

### 【整備基本方針1】

- 長沼支所、長沼交流センター（水防センター）及び長沼分団詰所は、国・市が共同して新たに設置する長沼地区河川防災ステーション上へ複合施設として新築する。
- 長沼公園は、長沼地区河川防災ステーションの形状に併せて復旧方法を検討する。
- 長沼体育館は、現地での改修とする。

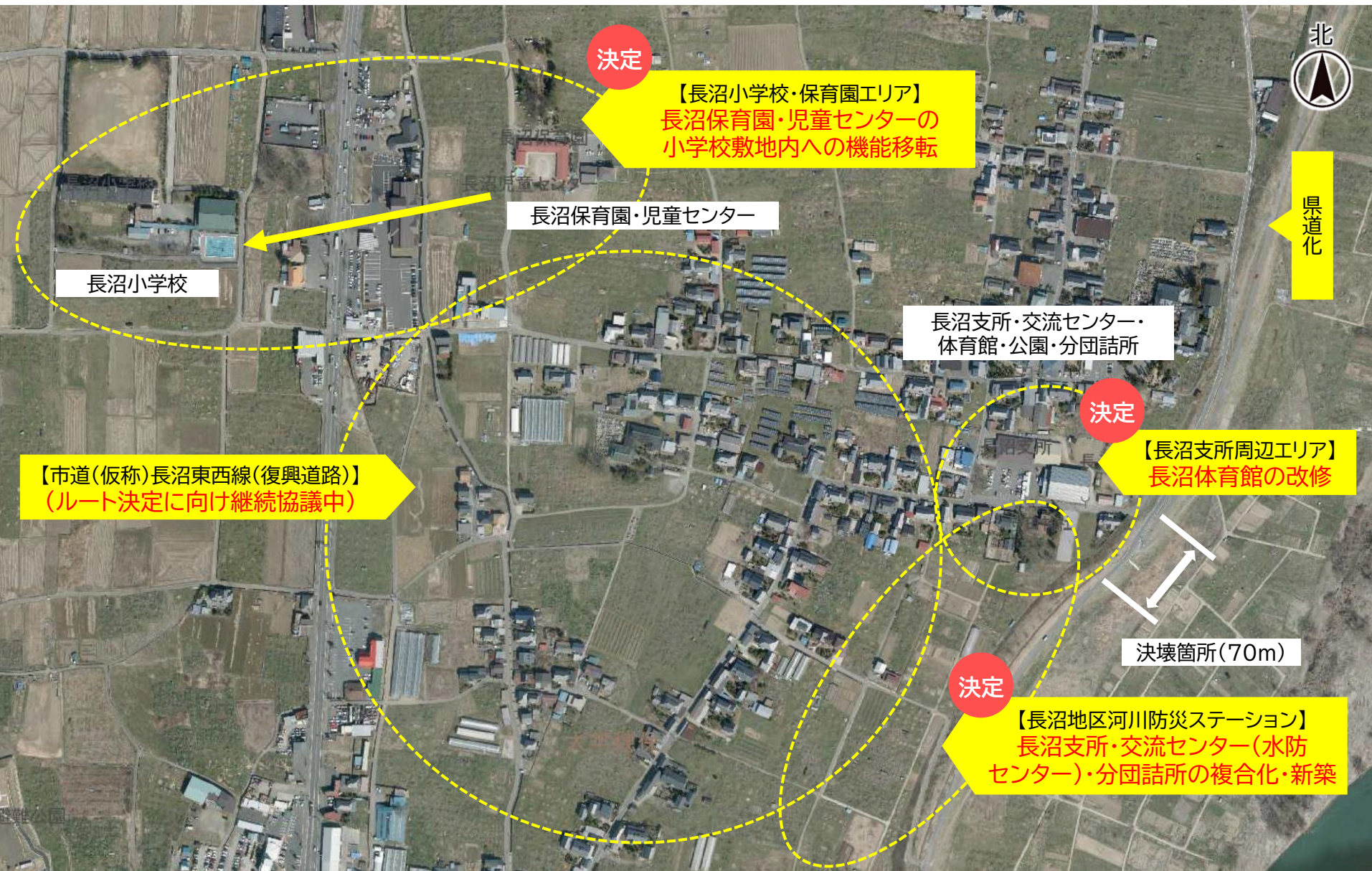
### 【整備基本方針2】

長沼保育園及び長沼児童センターは、長沼小学校の敷地内へ機能を移転し、保育園を新築する。

## 豊野地区

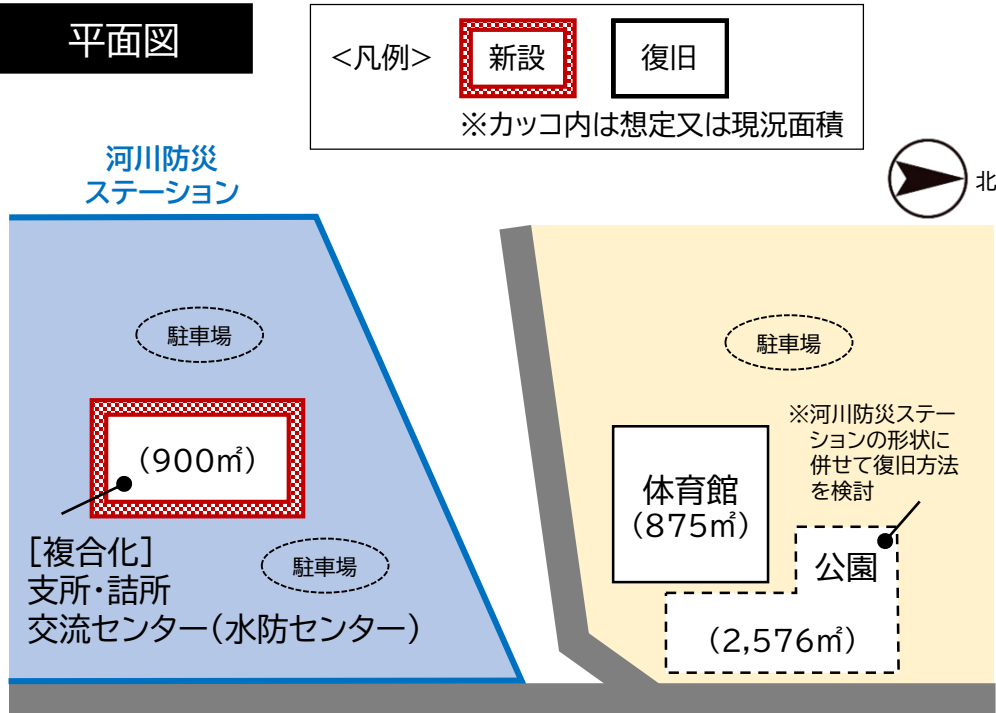
### 【整備基本方針3】

豊野公民館は、防災拠点機能を加え、「(仮称)豊野防災交流センター」として市営住宅沖団地跡地へ移転新築する。



- 長沼支所、交流センター(水防センター)及び分団詰所 ➤ 河川防災ステーション上に複合施設として新築
- 長沼体育館 ➤ 現地改修

## 平面図



## 事業スケジュール(予定)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
支所・詰所 交流センター/ 水防センター 公園		埋文 本調査				
体育館						

## 特徴

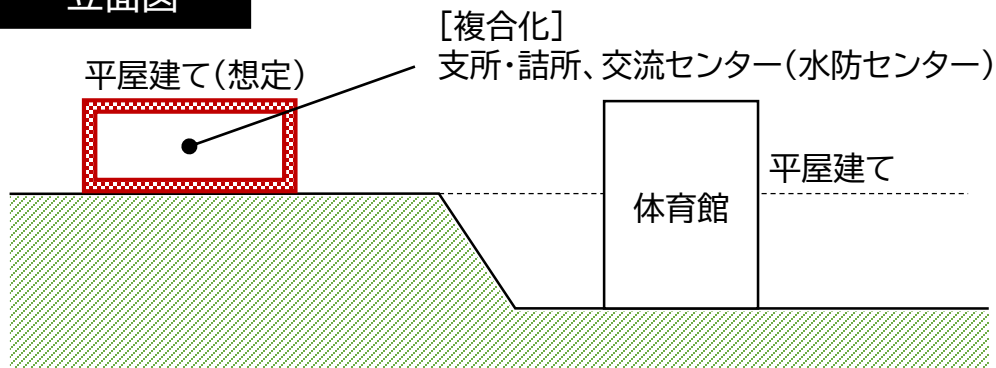
メリット

- 水害に対する安心感
- 内水被害にも効果あり
- 河川防災ステーションの広場も含めた有効活用ができる
- 平屋のため誰でも移動が容易
- 駐車場を広く取れる

デメリット

- ▼ 工期が長い(4~6年程度予定)
- ▼ 支所等へのアクセスのために、坂を上る必要がある

## 立面図



河川防災ステーションの施工範囲については、地域住民の意見を踏まえて検討

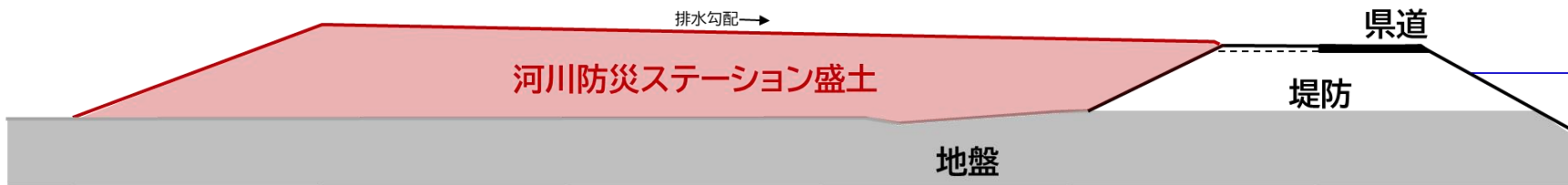
<出典:国土交通省千曲川河川事務所>



※河川防災ステーションの位置・範囲等の詳細については、今後変更となる可能性がある。

## 断面イメージ

※各面積や資材数量等の詳細については、現在検討中。  
※防災ステーション上部の地形については、利用形態により変更が可能。





## 特徴

- アミコメ
- 災害時に互いに連携した安全対策が可能
  - 小学校敷地が盛土(1m)されているため、浸水の軽減が図られる
  - 児童が同じ場所に集まることによる所在の分断回避
  - 児童センター利用児童の移動中の事件・事故の危険性回避
  - 保育園・小学校の互いの育ちの理解促進(世代間交流)

- アミコメ
- ▼ 周辺の道路事情(一部狭い箇所がある)

## 事業スケジュール(予定)

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度



災害公営住宅美濃和田団地完成予想図

## 豊野公民館

➤市営住宅沖団地跡地へ防災拠点機能を加え移転新築

<カッコ内は想定又は現況面積>

## 沖団地(拡大図)

### 事業スケジュール(予定)

R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度

## 豊野公民館(拡大図)



※上記の図は、防災交流センター・防災広場等の配置を示したものであり、実際の縮尺とは異なる。  
 ※道路形状等については、今後の協議にて決定



## 長沼地区

整備  
基本方針  
1

長沼支所周辺エリア  
＜事業期間：令和2～7年度＞

整備  
基本方針  
2

長沼小学校・保育園エリア  
＜事業期間：令和2～4年度＞

継続  
協議中

市道（仮称）長沼東西線（復興道路）整備事業  
＜事業期間：令和3～7年度＞

事業費概算

約 **22億円**

## 豊野地区

整備  
基本方針  
3

（仮称）豊野防災交流センター  
＜事業期間：令和2～5年度＞

事業  
進行中

災害公営住宅美濃和田団地整備事業  
＜事業期間：令和2～3年度＞

事業費概算

約 **27億円**